



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2025（令和 7）年 8 月 21 日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

各位

景気ウォッチャー7月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、7月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 夏休みや大型レジャー施設開業の影響などもあり、現状判断 DI 値は、「56.1」と好況。
2. 今後も、大型レジャー施設に対する需要拡大と、旧盆による県内需要増加が期待されていることから、2～3か月先の先行き判断 DI 値は「62.7」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2025年7月調査」をご覧ください。」

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：島袋

問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

E-mail shimabukuro-y@niac.or.jp

報道各社

内閣府において、公表された 2025（令和 7）年 7 月「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、弊財団にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめましたので、皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー7月調査 沖縄地域の結果

●沖縄地域の7月調査結果 概要

沖縄県の現状判断 DI 値が前回より 0.2 ポイント低い 56.1 となりましたが、判断基準となる 50 を上回り3ヶ月連続で好況となっています。夏休みや大型レジャー施設の開業による観光客の増加や施設周辺のコンビニやスーパー、飲食店などの需要も増加しているようです。一方、大型レジャー施設周辺で、施設の開業に伴う求人が継続しており、人手不足の広がりもみられています。

先行き判断については、前月より 1.1 ポイント増加し、DI 値は 62.7 と好況感が高まっております。大型レジャー施設への観光客増加に加えて、旧盆などの帰省による県内需要増加も引き続き、期待されています。

また、業種によっては、コスト上昇の影響により、広告や人件費などの費用の削減、それにより需要が減少するなどの影響が懸念されております。

今後も、大型レジャー施設による観光需要や、旧盆による県内需要増加の期待は続きます。さらに、10月の最低賃金の改定に向けて議論が続いておりますが、沖縄県でも1,000円を超えるか、今後の動向を注視したいです。

図 景気の現状判断 DI、先行き判断 DI の推移

